

平成25年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体		公益財団法人 京都市ユースサービス協会
実施事業名		Hard to Reach Populationを中心課題とした若者の予防啓発事業
団体代表者		遠藤 保子
事業の目的		学校や様々な社会的資源とつながりが薄く、支援を届けにくい青少年に必要な情報や支援を届けること。そのために、青少年を支える支援関係者とセクシュアルヘルス/セクシュアルヘルスライツのプロフェッショナル相互のつながりを整備し、特に問題が集中しやすい青少年層に対する啓発プログラムを開発し、試験的に実施することを目指した。
事業の達成度		<p>・障がいのある若者、不登校状態や他者との関わりに困難を抱える若者、非行や貧困等生活背景が厳しい若者たちに関わる支援者が集い、それぞれの実践の中で困っていることや、必要な資源を確認する機会をもつことができた。また、保健医療、福祉そして教育など広い分野で、民間、行政機関も含めて、若者たちを様々な生活場面で支える人、団体のつながりをつくることできた。</p> <p>・日本語を母語としない若者たち、障がいのある若者を対象にした予防啓発のリーフレット作成を行い、配布することはできたが、電子データ化し、幅広く活用を促すまでには至らなかった。一方で、前者用のルビをふったリーフレットは、10代の若者たちへの予防啓発に効果的であるとの判断から、ダンスイベント等での配布を行った。</p>
事業実績	対象となった人数	<p>①(1)a. 66名 b. 15名 (2)18名 ②(1)総数340名 (2)10名 (3)14名 (4)13名 (5)15名 ③26名 ④配布数 70人分 ⑤230名</p>
	具体的な活動内容	<p>①プロフェッショナルミーティング さまざまな分野で青少年に関わる支援者が、エイズ予防啓発の知識を身につけるための講座を実施した。 (1)障がいのある若者に関わる支援者のための講座 a. ヘルパー向け講座 b. 京都市東部域支援者研修会 (2)青少年支援者のための講座 京都市内の青少年施設やNPOなどで若者を対象にした相談業務や支援を行う援助者を対象にエイズを含む性感染症の基礎知識、若者のセクシュアルヘルスの課題について学ぶ講座を実施した。 ②周辺部分にいる若者へのアプローチ 社会資源にアクセスが困難な若者を対象に、セクシュアルヘルス事業、エイズを含む性感染症についての基礎知識を伝えることをはじめとし、ピアサポーターの養成、学生ボランティアへの研修などを行った。 (1)大学生エイズ基礎講座「ピアサポーターリクルート事業」 (2)学生ボランティア・スタッフ研修 (3)ピアサポーター養成講座 (4)非行少年へのアプローチ事業 (5)不登校や他者とのコミュニケーションが困難で通常の学校になじみにくい、10代の若者たちへの情報提供をどのように行うか、実際にフリースクールに出向き、指導者、生徒たちとふれあいながら事業の検討、試行を行った。 ③障がいのある若者へのアプローチ 障がいのある若者を対象にした性に関する基礎講座を開催した。支援学校教員のお話のあと、グループに分かれお茶をのみながら、性の悩みを語り合う茶話会、保健師による性感染症予防についてのミニ講座を実施した。 ④滞日、渡日の若者へのアプローチ 健康フィエスタでのエイズ予防啓発事業のための多言語リーフレット:英語、中国語、日本語(ルビつき)の作成と配布を行った。 ⑤その他の事業 1月と3月に行われたダンス・音楽イベントで日本語ルビ付きリーフレットを配布し、イベントに参加していた10代、20代の若者を対象に、簡単に参加できるワークショップを実施した。</p>